

Doxifluridine の毒性に関する研究

〈第3報〉ラットにおける5週間経口毒性試験

日本ロシュ研究所 毒性学病理学部

堀井 郁夫 八木下 正行 岡本 敏
森 典子 宇高 奎二

Toxicity Study of Doxifluridine (3)

—5 Weeks Oral Toxicity Study in Rats—

Ikuo Horii *et al.*

Department of Toxicology and Pathology, Nippon Roche Research Center

緒 言

5'-deoxy-5-fluorouridine(一般名doxifluridine, 以下5'-DFURと称す)は, fluoropyrimidine系抗悪性腫瘍薬として Hoffmann-La Roche社で新しく開発された5-FUの誘導体である¹⁾。

先に行ったラットに対する13週間連続投与による亜急性毒性試験において²⁾, 最大無影響量が35 mg/kgと推定されたが, 最高投与量200 mg/kg投与群においても死亡例は認められなく体重増加抑制と軽度の造血障害が認められたのみで重篤な毒作用は見いだされなかった。

今回, 本剤の毒作用をより明確に評価するために, 前回の13週間経口投与亜急性毒性試験よりも, より高用量の投与群を設け, 5週間連続経口投与亜急性毒性試験を行ったので報告する。

試験期間は, 1980年2月から1980年10月までである。

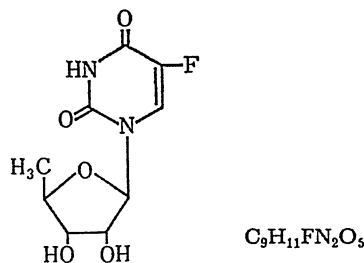


Fig. 1 Chemical structure of 5'-DFUR

I 実験材料および実験方法

1 被験薬物

被験薬物5'-DFURは, 化学名を5'-deoxy-5-fluorouridineと称し, 分子量246.20, 水に約7% (w/v)溶解し, エタノールに可溶性な白色結晶性粉末である。その構造式をFig. 1に示す。